

令和3年度鹿児島地域人財確保・育成推進事業計画（案）

1 事業目的

「鹿児島地域人財確保・育成推進協議会」を通じて、地域の雇用、地元への人材定着の状況や課題等について認識を共有するとともに、若年層を中心とする人材の地元定着のために必要な施策について、官民が連携して実施することとする。

2 事業内容

(1) 鹿児島地域人財確保・育成協議会の開催（第1回：書面開催）

(2) 令和3年度鹿児島地域ふるさと人材確保・育成事業

ア 事業主体 鹿児島地域振興局（総務企画課）

イ 事業費 1, 200千円

3 協議事項（取組案）

本年5月に当協議会委員の方々から頂戴した意見等（※）を踏まえ、令和3年度は、地元市村やハローワーク、教育機関等とも連携を図りながら、次の取組を実施する。

(1) PR紙の作成

ア 内容

都市部と比較した鹿児島の優位性、各産業・地元企業の魅力等を紹介する。

なお、各産業・地元企業等の魅力については、事務局が市村や高校、ハローワーク等と協議を行い、内容を決定する。

イ PR紙のサイズ等

高校生等が手に取りやすいように新聞の号外程度の大きさとし、また、大きな文字や写真、図表を用い、解りやすくなるように努める。

(2) PR紙の活用

管内の高校生（1，2年生）に配付するとともに合同企業説明会等で活用する。

※参考（委員からの意見等）

(1) 鹿児島や産業の魅力を発信することが人材定着のポイント

(2) 高校生や保護者等には地元企業等の情報が行き渡っていない。

(3) 高校生は、大学生等に比べ就職情報等が少なく、それが離職率の高さにもつながっている。

(4) 予算の都合上、動画では、紹介する地元企業数が限られるが、PR紙の場合、情報量の確保や図表の記載等も可能であり、また、高校生等に確実に配付することができる。

